

大学院の修了生を代表し、ご挨拶申し上げます。

本日は私ども修了生の為に、このように盛大な式を催していただき、誠にありがとうございます。本日この良き日を迎えるにあたり、安部理事長・安東学長をはじめ、諸先生方、並びにご関係の皆様には格別なご厚情を賜りましたことを、修了生一同、心から御礼申し上げます。

振り返りますと、私は六年前の二〇一七年四月に長崎国際大学人間社会学部国際観光学科に入学いたしました。学部在学中は、博物館学芸員養成課程に所属し、博物館を学問として学び、学内外での展示活動や考古学の発掘調査などを通して、学芸員に必要なスキルを習得することができました。そのような環境の中で、将来は学芸員として博物館で仕事がしたいという思いが強くなり、より専門的で高度な知識の習得を目指すべく、本学大学院に入学しました。

大学院での二年間は瞬く間に過ぎ、研究に行き詰まり、幾度も困難に直面しましたが、先生方から親身に、時には厳しくご指導を頂き、研究に邁進することができました。心から感謝の意を表します。また、茶道文化と博物館学芸員養成課程で任命されたティーン・グアシスタントの経験は、指導力と自身の人格形成に有意義でありました。本学の建学の理念であるホスピタリティ精神と人間尊重を培うことができましたことは、人生における大きな財産となりました。私どもは、本学で学び得た知識と経験を活かし、広い視野を持って研究成果を発揮し地域、そして社会に大きく貢献したいという思いを新たに、次のステージへと進みます。

最後になりますが、本日ご臨席賜りました皆様益々のご健康とご多幸、並びに長崎国際大学のさらなる発展と在学生の皆様様の輝かしい前途を祈念し、感謝の言葉とさせていただきます。

令和五年 三月十一日

大学院修了生代表

人間社会学研究科 観光学専攻

田川 太一